

平成 25 年度事業報告
(平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日)

庶 務 報 告

会員推移 (平成 25 年 8 月 31 日現在)

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5
正会員	6,639	6,750	6,773	6,893	7,007
名誉会員	51	56	55	56	57
功労会員	165	180	190	196	221
賛助会員	24	23	23	21	21
「臨床血液」購読数	137	137	138	138	126

役員推移

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5
理事	21	21	25	25	25
監事	2	2	2	2	2
評議員 (H24 まで代議員 (理事監事を除く))	762	725	717	747	731

会費納入状況 (2013 年度)

	既納者数	未納者数	計
正 会 員	6,222	785	7,007
賛助会員	18	3	21
計	6,240	788	7,028

物故者

功労会員 東 音高、増田 徹

会 議

学会総会 (第 74 回総会)

理事会	平成 24 年 10 月 19 日	京都国際会議場 (京都)
	平成 24 年 10 月 20 日	京都国際会議場 (京都)
	平成 25 年 1 月 11 日	東京国際フォーラム (東京)
	平成 25 年 4 月 26 日	日内会館 (東京)
	平成 25 年 7 月 26 日	日内会館 (東京)
	平成 25 年 9 月 27 日	日内会館 (東京)
プログラム企画委員会	平成 24 年 10 月 18 日	国立京都国際会館 (京都)
	平成 25 年 1 月 11 日	東京国際フォーラム (東京)
・第 75 回学術集会プログラム委員会 (組織委員会)	平成 25 年 5 月 19 日	東京国際フォーラム (東京)
・第 76 回学術集会プログラム委員会	平成 25 年 5 月 19 日	東京国際フォーラム (東京)
「I J H」編集委員会	平成 24 年 10 月 20 日	京都国際会議場 (京都)
「臨床血液」編集委員会	平成 24 年 10 月 20 日	京都国際会議場 (京都)
専門医認定委員会	平成 24 年 10 月 20 日	京都国際会議場 (京都)
	平成 25 年 2 月 11 日	ホテルグランヴィア京都 (京都)
	平成 25 年 8 月 2 日	京都事務局会議室 (京都)
学術委員会	平成 24 年 10 月 19 日	京都国際会議場 (京都)
・新ターゲット実行委員会	平成 24 年 10 月 18 日	国立京都国際会館 (京都)

診療等委員会	平成 24 年 10 月 21 日 平成 25 年 2 月 14 日	京都国際会議場（京都） 日内会館（東京）
・造血器腫瘍ガイドライン委員会	平成 24 年 10 月 21 日	京都国際会議場（京都）
教育委員会	平成 24 年 10 月 19 日	京都国際会議場（京都）
・研修医のための血液セミナー企画委員会	平成 24 年 10 月 19 日 平成 25 年 7 月 7 日	京都国際会議場（京都） 大津プリンスホテル（滋賀）
広報委員会	平成 24 年 10 月 21 日	京都国際会議場（京都）
・広報ワーキング委員会	平成 25 年 2 月 8 日 平成 25 年 6 月 20 日	日内会館（東京） 日内会館（東京）
賞罰・倫理委員会	平成 24 年 10 月 21 日 平成 25 年 4 月 4 日	京都国際会議場（京都） メルパルク京都（京都）
統計調査委員会	平成 24 年 10 月 19 日	国立京都国際会館（京都）
国際委員会	平成 24 年 10 月 21 日	京都国際会議場（京都）
・第 5 回 I J H 国際シンポジウム企画委員会	平成 25 年 4 月 26 日 平成 25 年 5 月 24 日 平成 25 年 7 月 26 日	日内会館（東京） 大和屋本店（愛媛） 日内会館（東京）
財務委員会	平成 25 年 7 月 26 日	日内会館（東京）
アドバイス委員会	平成 24 年 10 月 20 日	京都国際会議場（京都）
関東甲信越地方会・準備委員会	平成 25 年 4 月 13 日 平成 25 年 7 月 13 日	日内会館（東京） 日内会館（東京）

事業報告

研究支援事業

学術集会の開催

第 74 回日本血液学会学術集会

会 期： 平成 24 年 10 月 19 日（金）～21 日（日）3 日間

会 場： 国立京都国際会館

会 長： 小澤 敬也（自治医科大学）

メインテーマ： Toward the Development of Science-Based Medicine

参加者： 5, 700 名

プログラム 特別講演 4 題

会長講演 1 題

教育講演 49 題

シンポジウム 11 テーマ (52 題)

(Presidential Symposium、JSH-ASH Joint Symposium、
JSH-EHA Joint Symposium、Asian Joint Symposium を含む)

パネルディスカッション 1 テーマ (6 題)

ワークショップ 2 テーマ (7 題)

プレナリー 6 題

一般口演 405 題

ポスター 745 題

Meet-the-Professional 8 テーマ

Morning Discussion (Meet-the-Expert) 12 テーマ

公開シンポジウム

例 会

第 169 回日本血液学会例会

開催日：2013 年 2 月 2 日（土）

会 場：NTT 東日本関東病院 カンファレンスルーム

例会長：臼杵 憲祐（NTT 東日本関東病院）

第 170 回日本血液学会例会

開催日：2013 年 7 月 13 日（土）

会 場：日内会館 4 階 会議室

例会長：谷口修一先生（虎の門病院）

国 際

第 4 回国際シンポジウム (The 4th JSH International Symposium in Matsuyama)

会 長 安川 正貴

日 時 2013 年 5 月 24 日（土）－25 日（日）

会 場 大和屋本店（愛媛県松山市）

テーマ Dysfunction and Neoplasia of Lymphocytes

- ・ 74 回日本血液学会学術集会における ASH-JSH Joint Symposium 並びに EHA-JSH Joint Symposium

- ・ EHA Congress における EHA-JSH Joint Symposium

- ・ 若手の EHA Congress Award 支援

- ・ 第 18 回 EHA 発表者へのアワード（5 名、副賞各 20 万円）

山岸 誠 東京大学大学院メディカルゲノム専攻病態医療科学分野

Epigenetic deregulation of miRNA in malignant lymphomas <Oral>

坂田 麻実子 筑波大学医学医療系血液内科

Tet2 regulates development of peripheral T-cell lymphoma through impairment of hydroxymethylation <Oral>

吉里 哲一 東京大学医学部キャンサーボードがんゲノミクスプロジェクト

Spectrum of genetic alterations in acquired aplastic anemia <Oral>

坂口 大俊 名古屋大学大学院医学系研究科健康社会学専攻小児科学

Molecular spectrum of juvenile myelomonocytic leukemia identified by whole exome sequencing <Oral>

小林 匡洋 東北大学医学系研究科 血液免疫学分野

Iron deficient anemia involves reconfiguration of erythroid differentiation program orchestrated by heme receptor Bach1 <Oral>

- ・ EHA-JSH Collaborative Exchange Program

日本からヨーロッパへの派遣者には 100 万円を本学会より補助

(JSH) 松原 由美子 (慶應義塾大学)

派遣先：University of Pavia (Italy)

(EHA) なし

- ・ JSH-KSH Fellowship Exchange Program

日本から韓国への派遣は、2013 年度より開始。1 名の派遣が決定した。

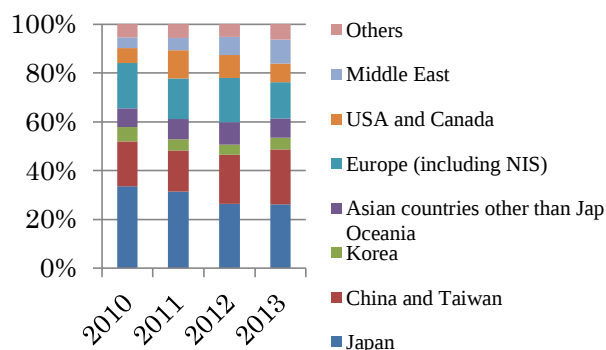
関口 直宏 (災害医療センター)

派遣先：Seoul National University Hospital

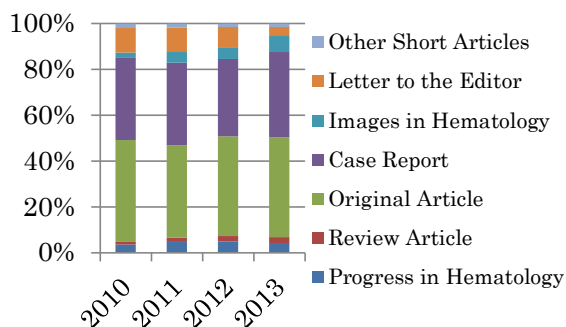
会誌の刊行

「IJH」(International Journal of Hematology) 誌

地域別投稿数



論文種別投稿数



2010年=770件、2011年841件、2012年938件、2013年8月末=584件

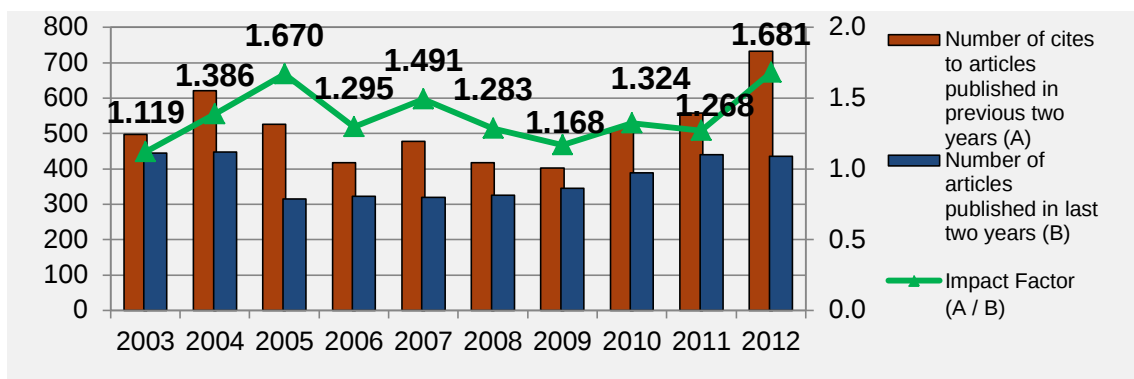
地域別受理率

Country/Territory	2010			2011			2012			2013		
	Accept	Reject	受理率	Accept	Reject	受理率	Accept	Reject	受理率	Accept	Reject	受理率
Japan	135	113	54.4%	128	129	48.5%	130	103	52.6%	47	62	30.7%
Asian countries other than Japan Oceania	8	50	13.8%	6	64	8.6%	7	79	8.0%	3	39	6.4%
China and Taiwan	13	29	9.7%	25	107	17.7%	33	145	17.5%	5	98	3.8%
Korea	35	101	25.7%	4	30	10.3%	16	21	41.0%	8	16	28.6%
Middle East	4	26	13.3%	7	33	16.7%	4	65	5.7%	1	48	1.8%
Europe (including NIS)	28	106	20.9%	32	106	22.7%	30	135	17.6%	8	56	9.3%
USA and Canada	14	33	29.8%	33	62	34.0%	28	58	31.8%	9	27	20.0%
Others	6	35	15.0%	7	40	14.9%	6	40	12.5%	2	31	5.4%
総計	243	493	33.0%	242	571	28.8%	254	646	27.1%	83	377	14.2%

論文種別受理率

Article Type	2010			2011			2012			2013		
	Accept	Reject	受理率	Accept	Reject	受理率	Accept	Reject	受理率	Accept	Reject	受理率
Progress in Hematology	28	0	100.0%	40	0	100.0%	45	0	97.8%	23	0	92.0%
Review Article	5	4	55.6%	8	7	50.0%	9	11	39.1%	2	9	13.3%
Original Article	104	221	30.4%	92	231	27.1%	96	288	23.5%	24	163	9.4%
Case Report	67	203	24.4%	50	246	16.5%	57	253	18.0%	19	158	8.7%
Images in Hematology	6	13	13.0%	10	28	25.6%	18	29	37.5%	10	22	25.0%
Letter to the Editor	36	47	43.4%	33	53	37.1%	23	59	27.7%	4	18	16.7%
Other Short Articles	5	8	35.7%	9	6	60.0%	6	6	46.2%	1	7	12.5%
総計	251	496	32.6%	242	571	28.8%	254	646	27.1%	83	377	14.2%

Impact factor



「臨床血液」誌

2012 年発刊状況

2012 年元月 秋 院

巻／号	頁数		頁数	総会論文	総説	臨床研究	症例	短報		
53/1	1	— 142	142	0	6	1	6	1	14	
53/2	143	— 234	141	1	6	0	7	1	15	
53/3	285	— 376	92	2	0	0	5	6	13	
53/4	377	— 480	104	7	1	1	4	1	14	
53/5	481	— 568	88	6	0	0	4	2	12	
53/6	569	— 648	80	6	0	0	3	1	10	
53/7	649	— 728	80	5	0	0	3	3	11	
53/8	729	— 810	82	4	0	1	5	1	11	
53/9	811	— 1484	674	第 74 回総会 プログラム・抄録号						
53/10	1485	— 1887	403	第 74 回総会 教育講演号 (46 本)						
53/11	1888	— 1980	93	0	0	2	6	1	9	
53/12	1981	— 2064	84	0	0	1	4	3	8	
				31	13	6	47	20	117	

2013 年発刊状況

2016年度分状況

巻／号	頁数		頁数	総会論文	総説	臨床研究	症例		短報		
54/1	1	—	140	140	0	10	1	2	1	14	
54/2	141	—	260	120	0	6	0	5	1	12	
54/3	261	—	326	66	0	0	1	9	1	11	
54/4	327	—	411	85	5	0	2	5	0	12	
54/5	412	—	501	90	4	0	1	5	0	10	
54/6	502	—	604	103	8	0	0	3	1	12	
54/7	605	—	687	83	4	1	1	4	0	10	
54/8	688	—	795	108	0	14	0	2	1	17	
54/9	796	—	1545	750	第75回総会 プログラム・抄録号						
54/10	1546	—			第75回総会 教育講演号 (55本)						
54/11	—	—			0	3	0	7	0	10	
54/12	—	—			0	0	1	7	1	9	
				21	34	7	49	6		117	

《2013. 9. 12 現在》

●年度別採用率

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間合計	採用数	採用率
2007年	18	9	11	9	9	8	10	5	6	3	10	9	107	72	67.3%
2008年	12	8	9	10	6	13	5	5	4	4	11	5	92	61	66.3%
2009年	10	12	13	11	9	7	11	4	5	8	9	5	104	73	70.2%
2010年	13	8	7	7	9	6	3	8	8	9	7	11	96	69	71.9%
2011年	8	11	9	11	4	11	5	13	8	3	6	12	101	70	69.3%
2012年	11	5	10	10	6	9	10	7	4	15	7	5	99	64	64.6%
avg	15.0	8.5	10.0	9.5	7.5	10.5	7.5	5.0	5.0	3.5	10.5	7.0	99.5	66.5	

●採用日数平均

50 巻平均 (2009 年)	137.7 日	53 巻平均 (2012 年)	128.4 日
51 巻平均 (2010 年)	149.3 日	54 巻平均 (2013 年)	111.3 日 《2013. 9. 12 現在》
52 巻平均 (2011 年)	133.0 日		

診 療

1. 診療報酬改定・保険収載（医療技術・医薬品の評価・再評価）の要望提出とヒアリング対応
 - ・BCR-ABL mRNA の定量PCR 法（日本臨床腫瘍学会と共同）
 - ・免疫固定法
 - ・ABL 遺伝子の変異同定（日本臨床腫瘍学会と共同）
 - ・高感度フローサイトメトリー法による GPI アンカー膜蛋白欠損（PNH 型）血球の検出
 - ・HTLV-1 組み込み
 - ・JAK2 遺伝子変異の解析
 - ・HHV6-DNA 定量
 - ・アデノウイルス-DNA 定量
 - ・パルボウイルス B19-DNA 定量
 - ・ADAMTS13 活性測定
 - ・ADAMTS13 インヒビター検査
 - ・血中トロンボポエチン濃度
 - ・von Willebrand 因子マルチマー解析
 - ・急性白血病の遺伝子検査
 - ・EBV-DNA 定量検査（日本造血細胞移植学会と共同）
 - ・がん化学療法指導管理料（日本癌治療学会と共同）
 - ・リツキシマブの特発性血小板減少性紫斑病（ITP）に対する保険適応の追加
 - ・リツキシマブの後天性血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）に対する保険適応の追加
 - ・同種造血幹細胞移植後の特発性肺炎症候群に対するエタネルセプトの適応拡大（日本造血細胞移植学会と共同）
 - ・成人急性白血病患者指導管理料
 - ・血液疾患/移植治療管理加算（日本造血細胞移植学会と共同）
 - ・造血幹細胞移植コーディネーター加算（日本造血細胞移植学会と共同）
2. 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬の要望（厚労省、関連会議へ提出予定）
 - ・イブリツモマブチウキセタン塩化イットリウム（ゼヴァリン）の効能追加（CD20 陽性低悪性度濾胞性リンパ腫の初発例に対する地固め療法）
3. 上記以外の厚生労働省への要望書
 - ・再発又は難治性の MCL 及び CLL に対する ibrutinib の早期承認
 - ・EBV-DNA 定量検査の保険収載
4. 公知申請が認められたもの
 - ・ヒドロキシカルバミドの効能追加（真性多血症および本態性血小板血症）
5. その他の調査・依頼
 - ・妊娠合併 ITP 診療の参照ガイド（案）に対するパブリックコメントの依頼
 - ・特定行為に係る看護師研修制度に関する意見調査
 - ・サリドマイド処方アンケート協力の依頼
 - ・フェジン適正使用の周知
6. 診療ガイドラインの作成

学術調査事業

学 術

新 TARGET

1. 新規症例登録の終了

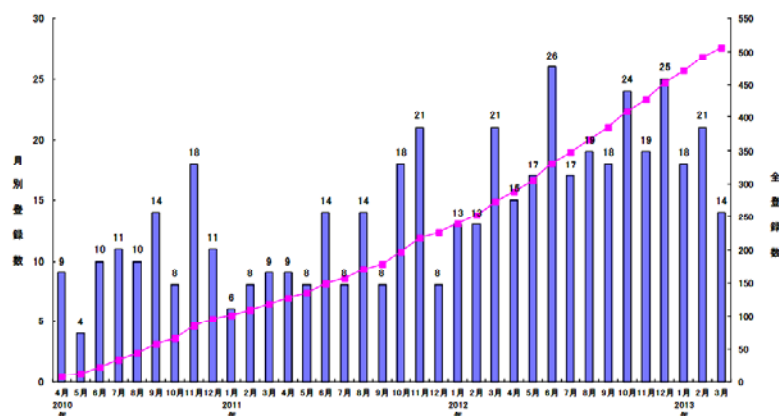
登録期間：平成 22 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

登録症例数（平成 25 年 3 月 31 日時点）

a) 観察研究 1

「日本国内における初発未治療の慢性期慢性骨髄性白血病患者を対象とした観察研究」

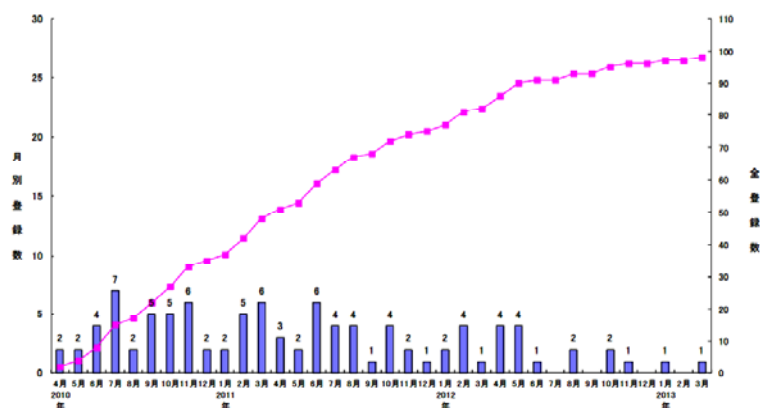
登録症例数：506 例（予定登録数 500 例）（達成率 101.2%）



b) 観察研究 2

「日本国内における 2nd または 3rd line イマチニブ既治療慢性期慢性骨髄性白血病患者を対象とした観察研究」

登録症例数：98 例（予定登録数 110 例）（達成率 89.1%）



統計調査

1. 登録の現状

- ・ 7 月 17 日現在の web 版登録システム（Ptosh）参加施設数は 222 施設（平成 25 年 4 月時点より 52 施設増加）。
- ・ 平成 25 年 4 月 24 日現在、日本血液学会が認定している血液研修施設数は 498 施設。
- ・ 国立病院機構と小児血液疾患登録参加施設数は上記の 222 施設には含まれていないが、これらを加えたとしても、全研修施設の約 250 施設はまだ登録に参加していない。
- ・ 来年施設更新予定の研修施設 165 施設のうち約 100 施設はまだ疾患登録に参加していない。

2. 今後の予定

- ① 平成 25 年 4 月 24 日の時点で施設登録を済ませていない施設及び疾患登録の実績がない施設に対して、症例登録の督促状を平成 25 年 9 月に該当施設に発送する予定。
- ② ①の問い合わせに対して回答がない施設に対しては、各地域の疾患登録委員が電話・メールなどで該当施設に直接連絡を取り、施設・症例登録を督促する。

3. 論文執筆状況

2006 年から 2011 年 12 月 31 日までに登録された 50,122 症例に関するまとめは「我が国における血液疾患の動向－日本血液学会統計調査委員会報告」として臨床血液誌 11 月号に掲載されることになっている。来年以降は、前年度の登録症例のまとめを年次報告として毎年臨床血液誌に投稿する予定。疾患群ごとの詳細な解析については原著論文として別途投稿することを検討している。

4. 疾患登録に関する研修施設認定要件の変更

現在の日本血液学会研修施設認定要件では「認定施設は原則として、本学会による血液疾患登録（または小児血液学会、国立病院機構による登録）を行っていること。申請時に、過去 1 年間（または登録開始時点から）の疾患登録数を記載して提出する。」となっている。平成 25 年 10 月からは「原則として」がはずれ、「認定施設は、本学会による血液疾患登録を行っていること」に変更されることになった。

人材育成事業

専門医認定制度

専門医等取得状況 平成 25 年 7 月末現在

専門医	3,154 名
指導医	1,594 名
研修施設	497 施設

専門医認定試験

平成 25 年度（第 23 回）血液専門医認定試験

日 時	平成 25 年 6 月 23 日（日）13:00～15:00
会 場	メルパルク京都 6 階 会議室（京都市）
受験者数	186 名（欠席 1 名）
合格者	176 名 不合格者 9 名（合格率 94.6%）

教 育

第 6 回研修医（初期・後期）のための血液学セミナー（日本血液学会主催）

開催日：平成 25 年 7 月 5 日（金）[サテライトプログラム]-7 月 7 日（日）

会 場：大津プリンスホテル

対 象：研修医（前期，後期を含める）、オブザーバーは研修医以降

参加人員：一般参加 98 名 + オブザーバー 24 名

講師・座長：50 名

講習時間・形態：これまでとほぼ同じ内容にて実施。

サテライトプログラム（7/5 夜：学術委員会との共同）：研究医に関するセッション

本プログラム：

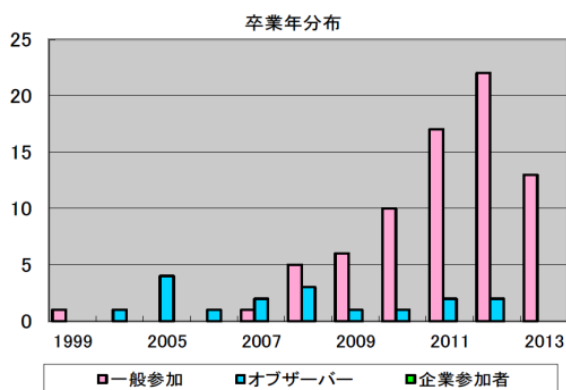
全体講義：レクチャー 3 コマ、ケーススタディ 4 コマ

グループスタディ：4 コマ

*企業によるモーニングセッション 2 コマ、ランチョンセッション 2 コマ

参加者アンケート：一般参加者による点数 88.7 点

オブザーバーによる点数 89.9 点



普及啓発事業

広 報

(1) ・学会ホームページの定期的な更新と改訂

- ・トップページの全面改訂。重要事項を12のメニューとしてトップページに配し見やすくした。
- ・学会集會および国際シンポの案内、動画
- ・日血ニュース、更新情報
- ・COI 関係の明記
- ・血液学会認定研修施設（グーグルマップ）の更新
- ・理事会議事録
- ・Web セミナー（第74回学会集會教育講演）
- ・施設毎血液疾患登録症例数
- ・診療情報（製品情報、厚労省、保険診療関係、安全性情報）の掲載
- ・第29回医学会総会、声明文（臨床研究に関する倫理指針）

(2) 「日本血液学会ニュース」（メール便）の定期的な発行

(3) 会員に有用な公的かつ学術的内容に関する掲載依頼に対する迅速な対応

賞 罰

奨励賞（第74回日本血液学会学術集會発表）：副賞各30万円

籠谷 勇紀 口演 東京大学血液・腫瘍内科

NF- κ B-TNF- α positive feedback loop is essential for maintenance of myeloid leukemia stem cells

諫田 淳也 口演 自治医科大学さいたま医療センター血液科

UCB transplantation vs. related transplantation with HLA 1-AG mismatch in the GVH direction

齋藤 祐介 口演 宮崎大学腫瘍生化学分野

Maintenance of the hematopoietic stem cell pool in bone marrow niches by EVI1-regulated GPR56

幣 光太郎 口演 宮崎大学 内科学講座消化器血液学分野

TET2 is essential for survival and hematopoietic stem cell homeostasis

数藤 孝雄 口演 大阪大学 血液・腫瘍内科

Role of Endothelial antigen ESAM in hematopoietic stem cell status

千原 大 口演 愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部

The difference in the incidence and the trend of hematologic malignancies in Japan and the US

星居 孝之 口演 金沢大学 がん進展制御研究所

AML stem cells lacking mTORC1 self-renew but have defective leukemia-initiating capacity in mice

松岡 賢市 口演 岡山大学 血液・腫瘍内科

The impact of recent thymic emigrant regulatory T cells (RTE-Treg) on the tolerance after HSCT

武藤 秀治 口演 筑波大学大学院 血液病態制御医学分野

Reduced TET2 expression confers enhanced competitive repopulation capacity on HSCs

吉田 奈央 口演 名古屋第一赤十字病院小児血液腫瘍科

IKZF1 mutation associated with a primary immunodeficiency evolving into T cell leukemia

白血研究基金助成（学会推薦）

諫田 淳也（自治医科大学さいたま医療センター 血液科）

星居 孝之（金沢大学 がん進展制御研究所）

第2回日本血液学会賞：副賞100万円

小川 誠司（京都大学医学研究科病理系腫瘍生物学）